

2019年3月期 決算説明資料

 **和弘食品株式会社**

2019年5月10日
証券コード 2813



市場環境

単身世帯の増加
女性の社会進出
少子高齢化

人手不足

健康志向
安全・安心

訪日外国人増加
インバウンド

ビジネスチャンス

中食の拡大
食の外部化

調理の簡便化

食の多様化
高付加価値化

日本食・和食の
拡大・定着

ニッポンが誇る食ブランド“ラーメン”を世界へ



- 1 . 2019年3月期 連結決算概要
- 2 . 2020年3月期 業績予想
- 3 . 第4四半期 トピックス（参考）

- 1 . 2019年3月期 連結決算概要
- 2 . 2020年3月期 業績予想
- 3 . 第4四半期 トピックス（参考）

業績数値に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル=110.850円で計算しております。

連結業績

- ✓ 連結売上高は10,219百万円（前年同期比較 1,229百万円増収 +13.7%）
連結売上高100億円達成、過去最高を更新。
- ✓ 連結営業利益は185百万円（前年同期比較 135百万円増益 +272.6%）
対業績予想についても目標を達成（達成率214.3%）。

単体業績

- ✓ 国内売上高は9,390百万円（前年同期比較969百万円増収 +11.5%）
提案型営業の強化により外食、中食向け製品の売上が好調。
- ✓ 国内営業利益は230百万円（前年同期比較 6百万円増益 +3.1%）
売上高の増加に伴い運送保管費・人件費が増加し、低調に推移。

海外業績（北米）

- ✓ 国外売上高（北米）は893百万円（前年同期比較 279百万円増収 +45.5%）
日本食レストランからの採用件数が堅調に推移。
- ✓ 国外営業利益（北米）は△46百万円（前年同期比較 149百万円増益）
売上高増に伴い稼働率が向上、営業利益の改善が進む。

(単位：千円)	2018年3月期		2019年3月期				
	実績	予想(修正前)	実績	前年同期増減比較		予想同期増減比較	
				金額	増減率	金額	増減率
売上高	8,989,310	9,623,857	10,219,115	1,229,805	13.7%	595,258	6.2%
売上原価	6,996,948	7,555,228	7,818,336	821,388	11.7%	263,108	3.5%
売上総利益	1,992,361	2,068,628	2,400,779	408,417	20.5%	332,150	16.1%
販売管理費	1,942,518	1,981,986	2,215,071	272,552	14.0%	233,085	11.8%
営業利益	49,843	86,642	185,707	135,864	272.6%	99,065	114.3%
経常利益	35,207	94,404	223,125	187,917	533.7%	128,720	136.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	37,629	24,181	124,579	162,208	-	100,397	415.2%
EPS	45.96円	-	152.17円	198.13円	-	-	-
総資産	7,626,725	-	8,311,618	684,893	9.0%	-	-
純資産	3,899,021	-	4,054,106	155,084	4.0%	-	-

EPSについては株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。
2019年4月26日に業績予想の修正を行っておりますが記載金額については、当初予想である修正前の金額を記載しております。

予想達成率

売上高 106.2%

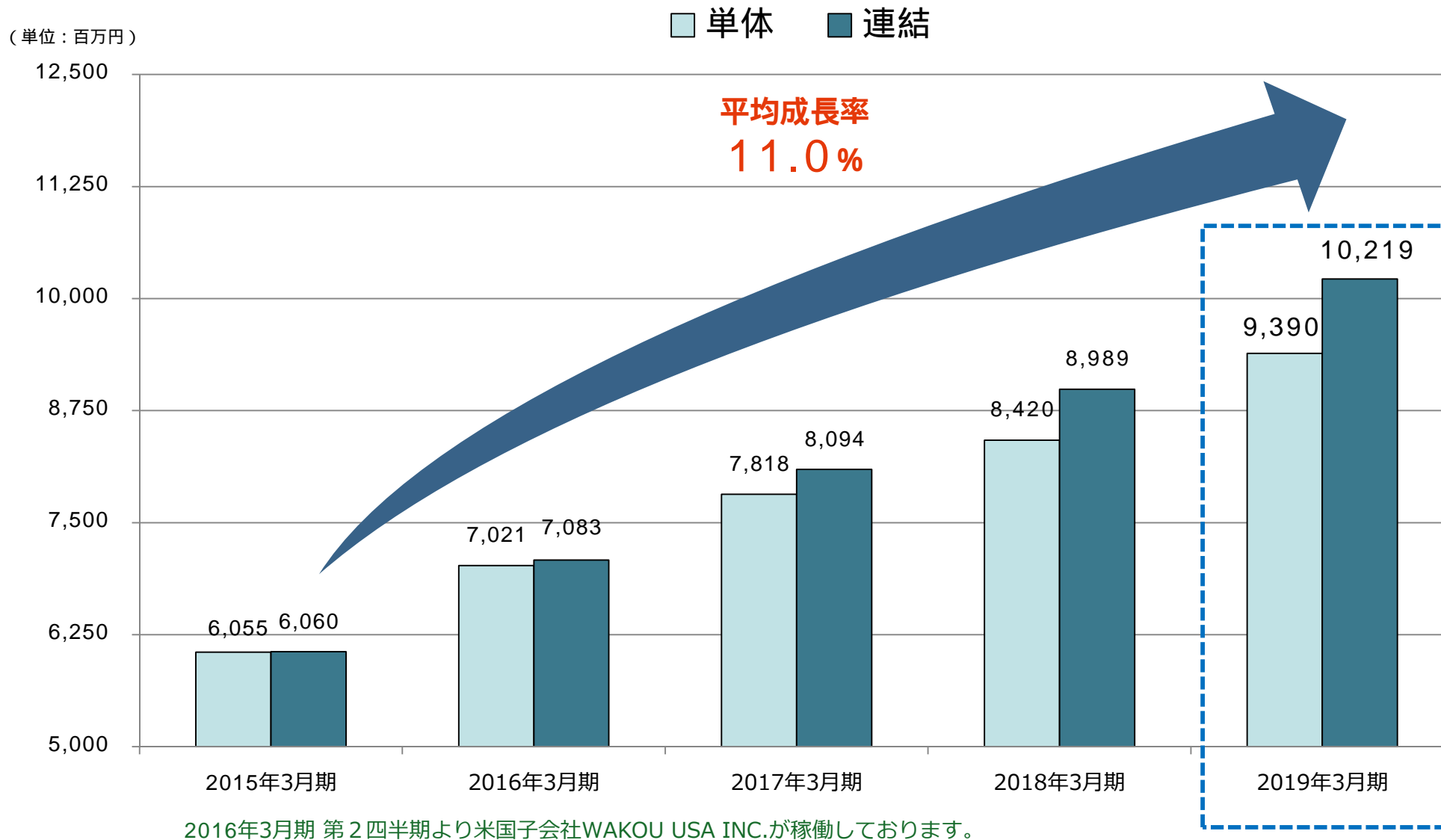
営業利益 214.3%



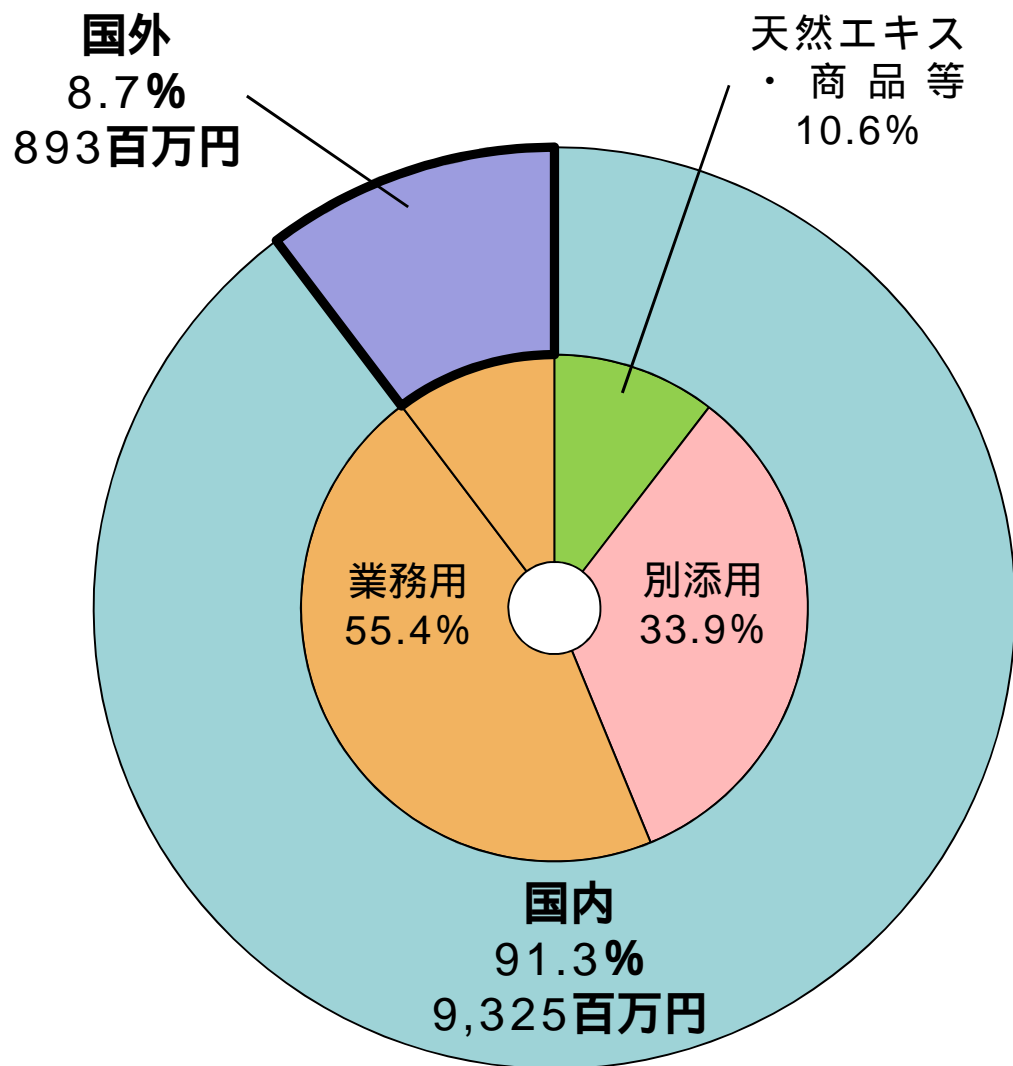
【好調理由】

外食・中食向け業務用調味料市場の開拓が進み、売上高は好調を継続。
WAKOU USA INC.の業績改善に伴い、売上総利益以下の利益率が改善、
高収益構造の確立に向け前進。

■ プレゼンルームを活用した提案型営業の強化により好調を継続、前年比較 1,229百万円増（13.7%増）



■ 連結売上高は別添用・業務用製品が牽引（前年同期比：別添用5.6%増、業務用17.8%増）



別添用

主に内食業界向け（袋めん付属スープ等）、中食業界向け（コンビニエンスストア向け調理麺付属スープ・めんつゆ等）で使用される形態です。また、近年では大手外食チェーンの調理オペレーション効率化に伴い、小袋形態での受注が増加傾向にあります。

本格的な専門店の味をご家庭にお届けすることをモットーに味作りをしています。

業務用

主に中食業界向け（スーパーマーケットの惣菜バックヤード等）、外食業界向け（ラーメン店、レストラン、居酒屋等）で業務用として使用される形態です。

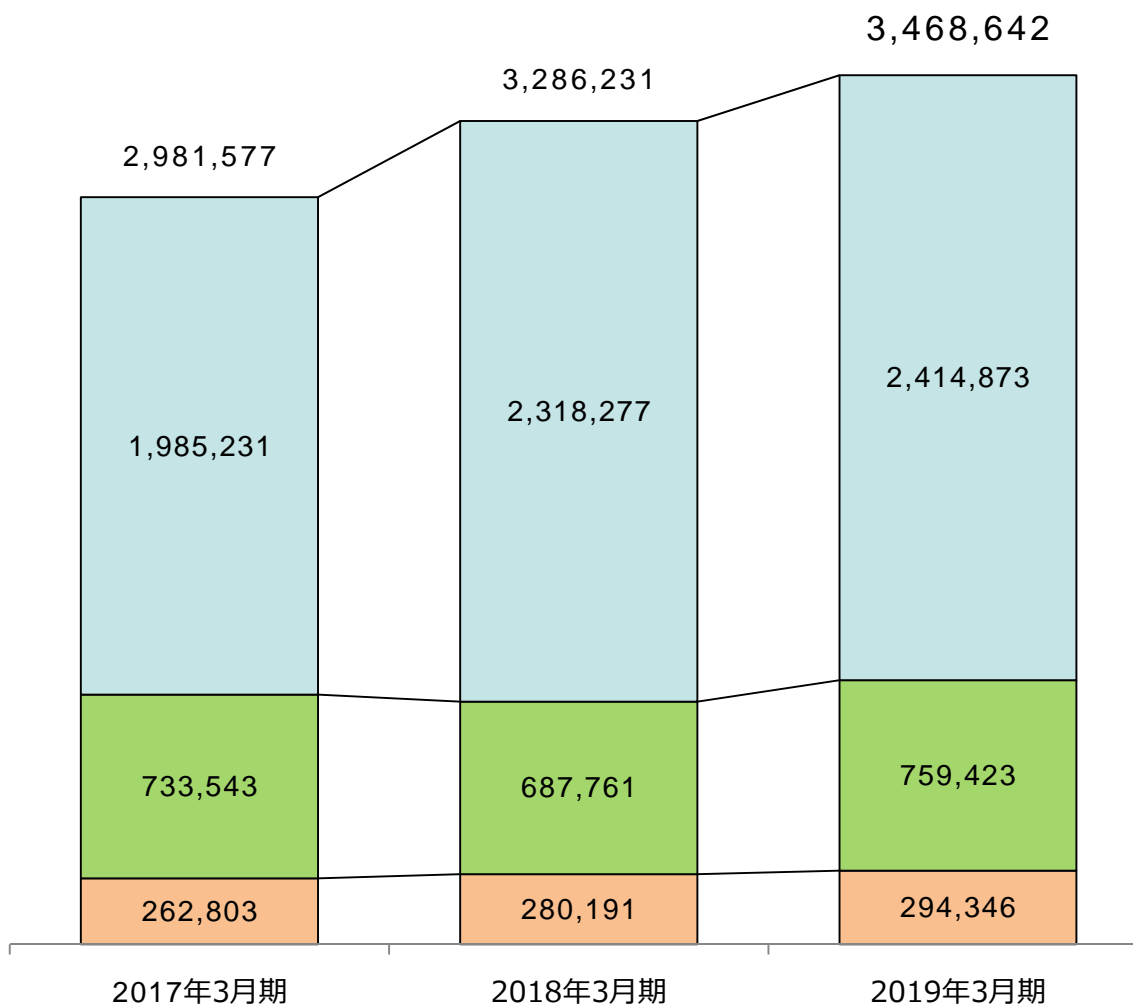
本格的な専門店の味の再現や仕込み作業軽減等、数多くの企業・繁盛店様のご要望やニーズに沿った製品作りを心掛けております。

天然エキス・商品等

北海道の新鮮素材を独自の製造技術により精製した天然エキスは、原料として数多くの製品に取り入れられている他、外販もしております。

また、商品（転売品）等もこの項目に含めて表示しております。

（単位：千円）



別添用ラーメン 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・魚介系ラーメンスープ（しじみ、あさり塩白湯）
- 【内食用 ↗】
 - ・チルド冷麺スープ、量販店向け冷凍麺用スープ（担々麺、あんかけラーメン）

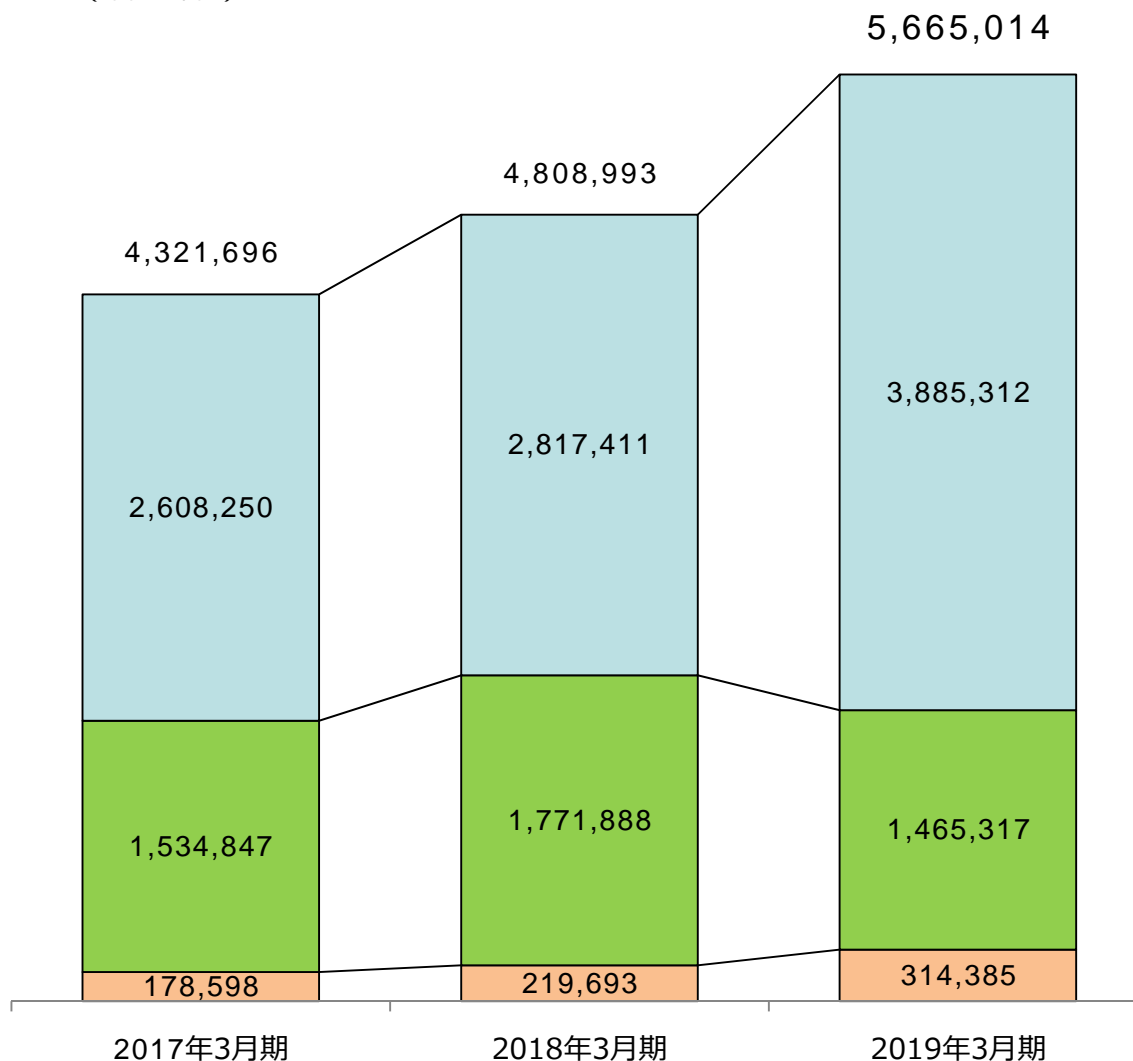
別添用その他 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・トムヤムスープ、スンドゥブチゲ、麻婆豆腐の素、豆乳スープ
- 【内食用 ↗】
 - ・タッカルビの素、タコライスの素、かに飯のたれ、チゲ鍋のたれ

別添用めんつゆ 主な増減要因

- 【中食用 ↗】
 - ・ほうとうのつゆ、あご出汁のつゆ

（単位：千円）



業務用ラーメン 主な増減要因

【外食用 ↗】

- ・豚骨、味噌、坦々麺、魚介系（煮干、海老塩）ラーメンスープ、黒マー油

【中食用 ↗】

- ・味噌、しじみ塩ラーメンスープ

業務用その他 主な増減要因

【外食用 ↗】

- ・鍋、しゃぶしゃぶ用スープ（牛テール、帆立、ロブスター味噌）、
パスタソース（ボンゴレソース）

【中食用 ↗】

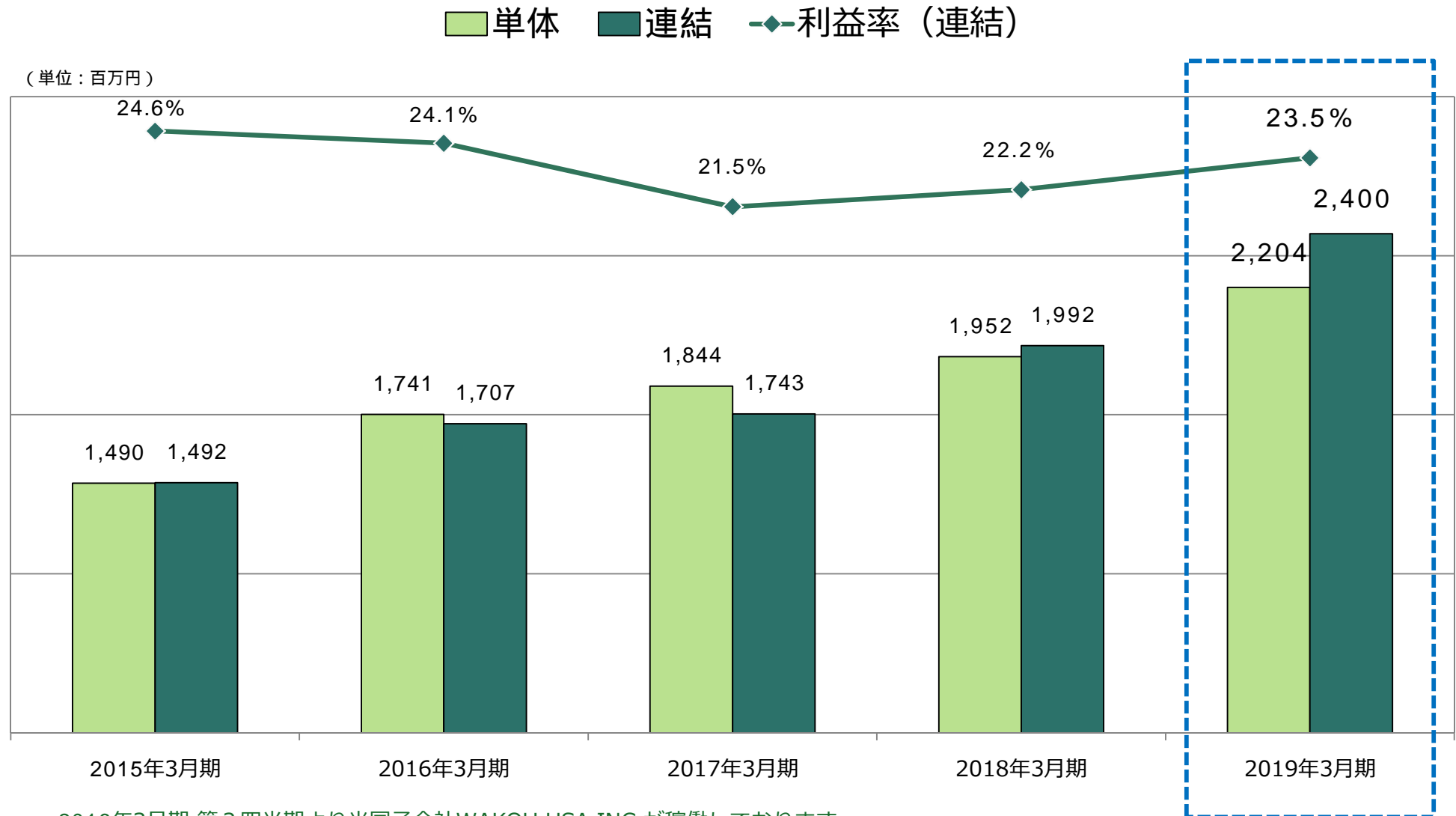
- ・お弁当用ラー油、冷担々麺用の辛子ラー油

業務用畜肉・水産 主な増減要因

【外食用 ↗】

- ・焼肉のたれ、牛すじ煮込みのたれ、照焼きチキンのたれ、すき焼のたれ

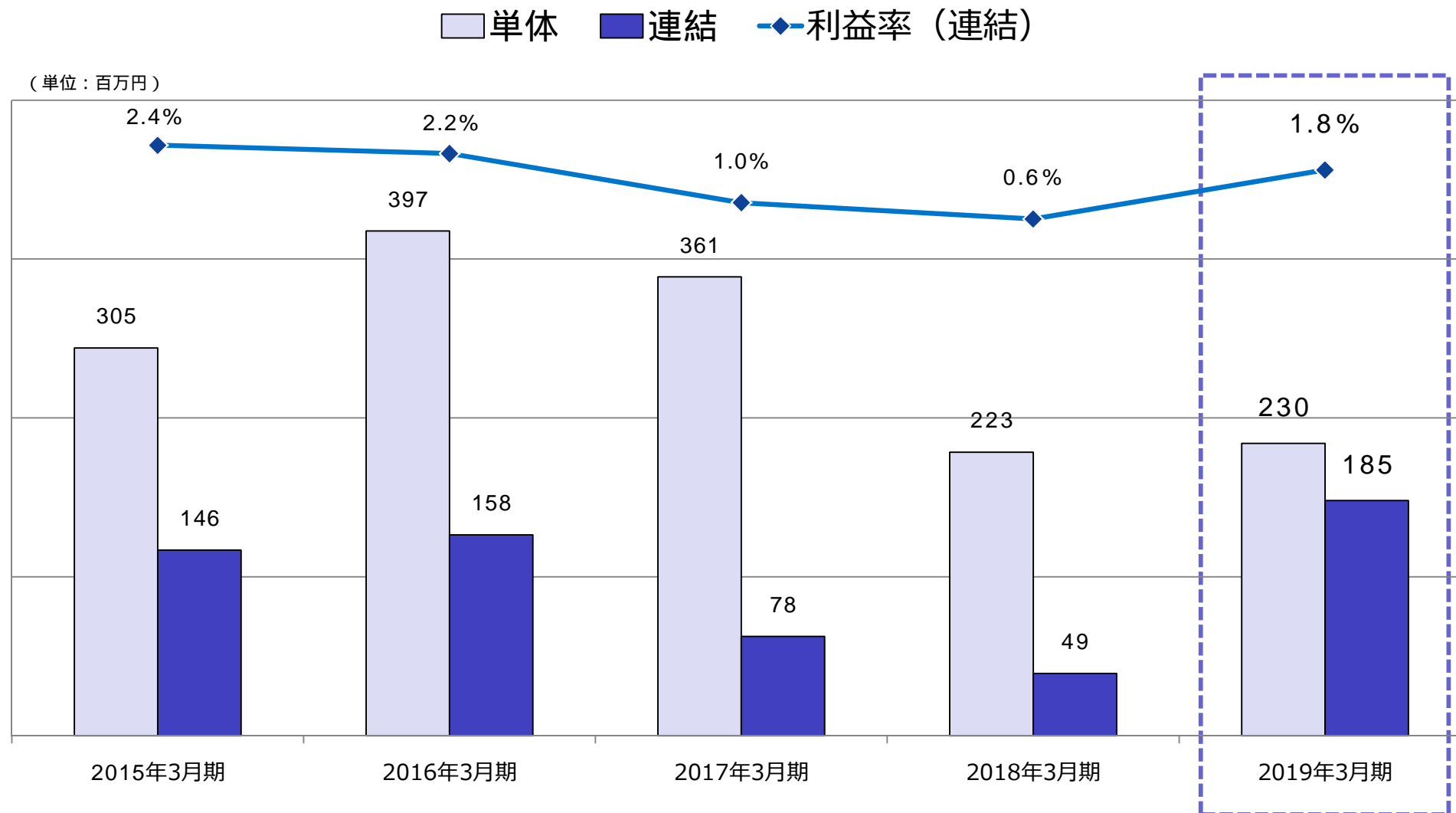
■ WAKOU USA INC.の業績改善に伴い、連結売上総利益は改善が進む



2016年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.が稼働しております。

営業利益推移（単体・連結）

■ 単体営業利益は国内の運送保管費の増加により低調に推移したが、連結営業利益については、WAKOU USA INC.の業績改善に伴い大幅な改善へ向かう



2016年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.が稼働しております。

営業利益増減分析（連結）

主な増益・減益項目 (単位：千円)	2018年3月期		2019年3月期		前年同期増減比較	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
売上総利益	1,992,361	22.2%	2,400,779	23.5%	408,417	20.5%
運送・保管費	535,129	6.0%	640,277	6.3%	105,147	19.6%
人件費	612,011	6.8%	713,047	7.0%	101,036	16.5%
その他販売管理費	795,377	8.8%	861,746	8.4%	66,368	8.3%
営業利益	49,843	0.6%	185,707	1.8%	135,864	272.6%

増益要因

売上総利益

： 外食・中食市場向け調味料の販売が好調。売上高1,229百万円増加
 ： WAKOU USA INC.の業績改善に伴い増益。

減益要因

運送・保管費

： 各運送会社の運賃の値上げに伴い増加

人件費

： 拡販活動に伴う増員により人件費が増加

その他販売管理費

： 主に法定福利費、備品代等が増加

対策

構造改革推進委員会を設置

- ・ 受注・生産体制の見直し
- ・ 運送・保管方法の見直し
- ・ 社内体制の見直し

キャッシュフローの状況（連結）

【営業CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・税引前当期純利益増加額 +167百万円
- ・法人税等の支払額の減少 +64百万円

【投資CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・有形固定資産の取得 105百万円
- ・無形固定資産の取得 72百万円

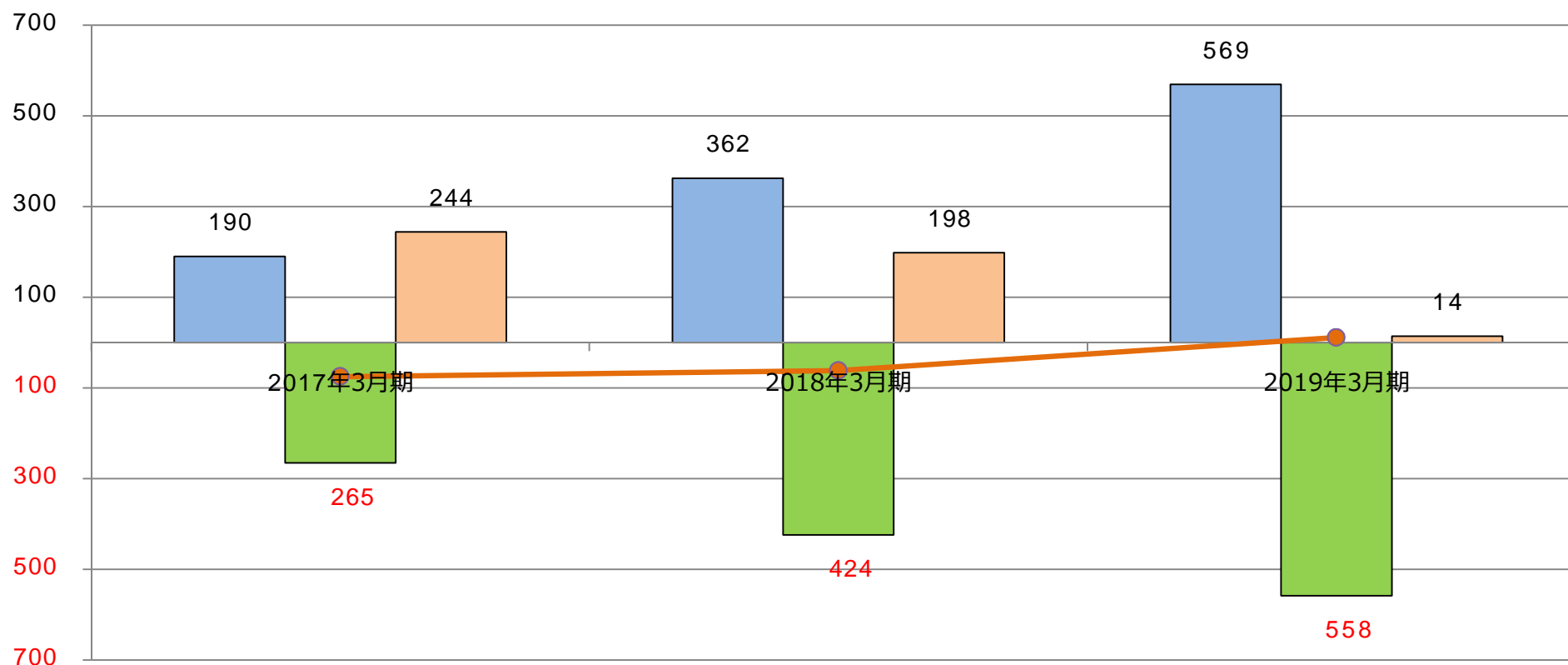
【財務CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・リース債務の返済額増加 11百万円
- ・借入の返済額増加 172百万円

■営業CF ■投資CF ■財務CF ●FCF

（単位：百万円）



投資実績（連結）

(単位：千円)	2018年3月期		2019年3月期		前年同期増減比較	
	実績	実績	金額	増減率		
設備投資額 1	482,992	736,042	253,049	52.4%		
減価償却費	423,120	427,700	4,580	1.1%		
研究開発費	210,719	199,007	11,711	5.6%		
フリーキャッシュフロー 2	61,340	11,263	72,604	-		
有利子負債 ※3	1,989,306	2,128,491	139,185	7.0%		
配当金支払額 ※4	40,940 (50円/1株) <small>(効力発生日：平成29年6月22日)</small>	40,935 (50円/1株) <small>(効力発生日：平成30年6月21日)</small>	-	-		
ROE 5	1.0%	3.1%	4.1%	-		

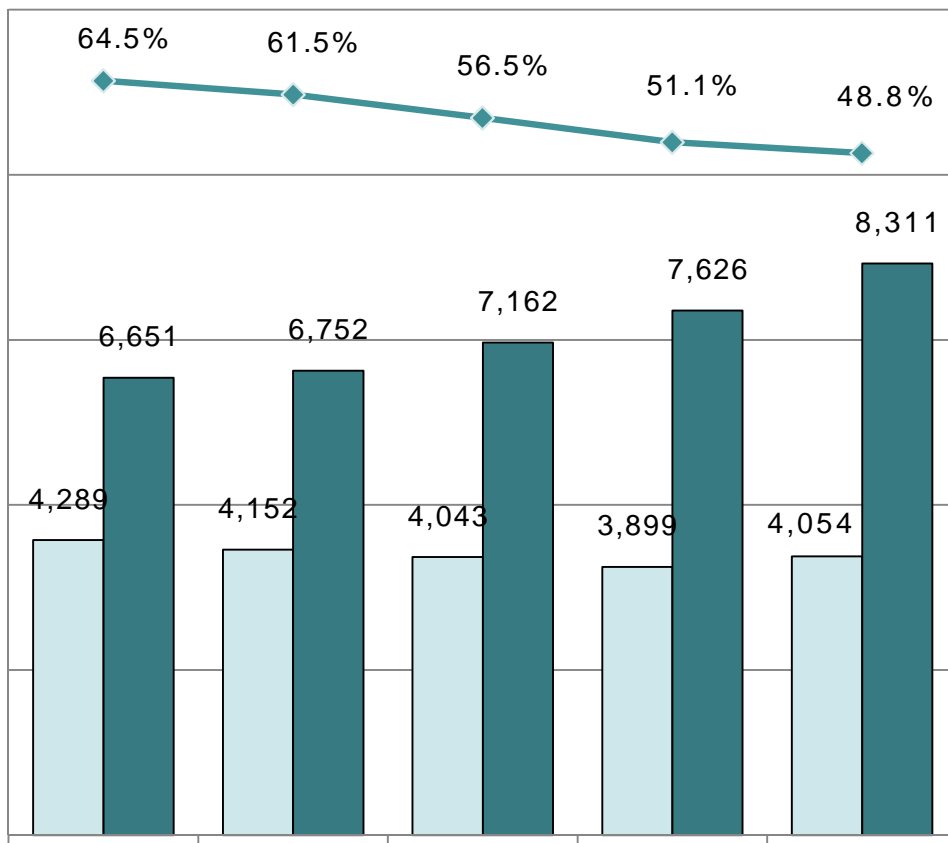
- 1 主な設備投資**：製造設備の導入 302,576千円（主に、ボイラ - 設備の入換え、製品冷蔵庫増設）
 ：ソフトウェア導入 68,562千円（主に、米国子会社でのERPソフトの導入）
 ：ソフトウェア仮勘定 130,439千円（主に、来期に向けたシステム入替費用）
- 2 連結営業利益の回復に伴い、営業CFも改善が進む。**
- 3 来期の設備投資に向けた資金調達により有利子負債が増加。**
- 4 配当金支払額については株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。**
- 5 業績回復に伴い前期比較4.1%ポイント増加。**
 なお、ROEについては株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

来期の投資に向け、短期借入金が増加したため自己資本比率及び流動比率が減少したが、来期以降の業績向上に伴い共に回復へ向かう見込み

自己資本比率の推移

自己資本 総資産 自己資本比率

(単位：百万円)

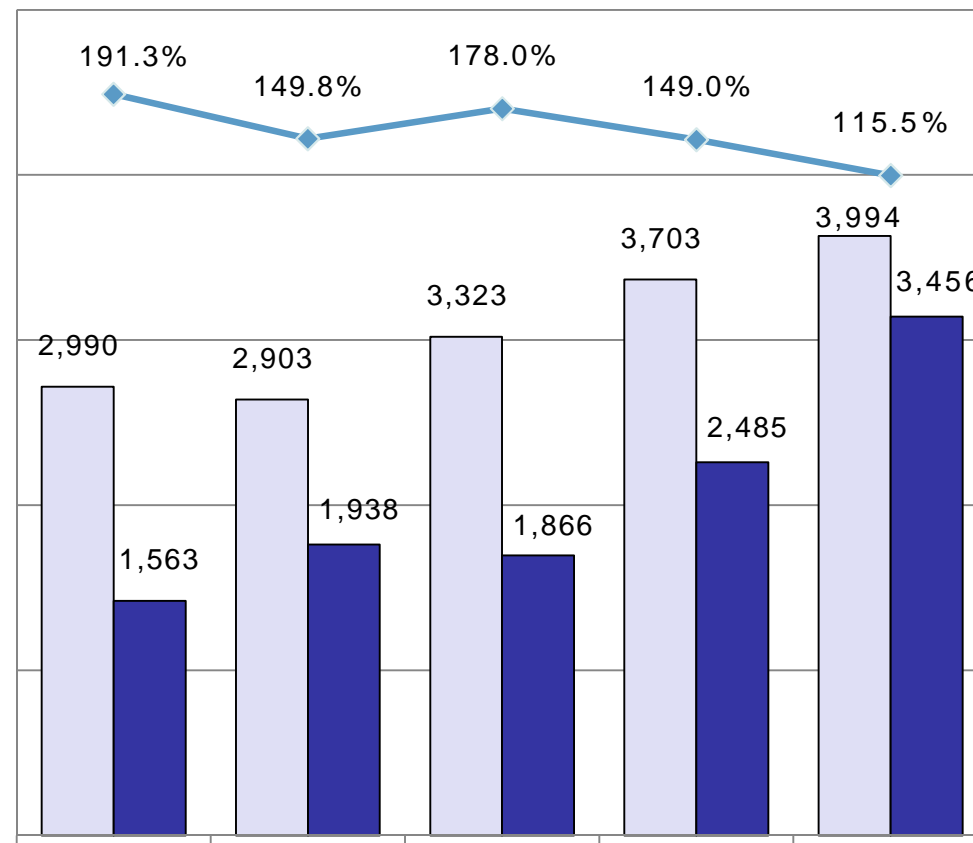


2015年3月期 2016年3月期 2017年3月期 2018年3月期 2019年3月期

流動比率の推移

流動資産 流動負債 流動比率

(単位：百万円)



2015年3月期 2016年3月期 2017年3月期 2018年3月期 2019年3月期

- 1 . 2019年3月期 連結決算概要
- 2 . 2020年3月期 業績予想
- 3 . 第4四半期 トピックス（参考）

業績予想に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル=110円で計算しております。

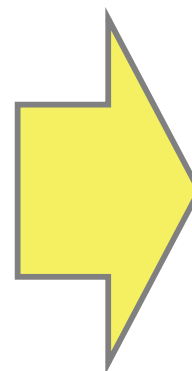
2020年3月期連結業績予想

(単位：百万円)	2019年3月期 (実績)			2020年3月期業績予想				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	予算	実績
売上高	4,883	5,335	10,219	5,241	5,635	10,876		657
売上原価	3,772	4,046	7,818	4,071	4,188	8,260		441
売上総利益	1,110	1,289	2,400	1,169	1,447	2,616		215
販売管理費	1,095	1,119	2,215	1,105	1,194	2,299		84
営業利益	15	170	185	64	252	317		131
経常利益	37	185	223	71	258	330		107
親会社株主に帰属する 当期純利益	8	132	124	47	217	264		139

業績予想の数値は季節的影響を含んでおります。

市場環境

- ・日本からのラーメン専門店の進出が増加、ラーメン人口が急激に増加している
- ・SUSHI等の日本食レストランで、ラーメンのサイドメニュー化が加速している
- ・食の安心・安全からUSDA認証製品が注目されている



内部環境

- ・アメリカ国内において知名度が高まっており、現地でのラーメン産業展では非常に人気を博している
- ・今後も大口の日本食レストランからの採用件数は増加する見通し
- ・USDA認証を取得した北米でも珍しいスープ類専門工場

(単位：千円)



業績予想の数値は季節的影響を含んでおります。

- 1 . 2019年3月期 連結決算概要
- 2 . 2020年3月期 業績予想
- 3 . 第4四半期 トピックス（参考）

日清オイリオグループとの共同ブースでデリカテッセントレードショーに出展

日時：2019年2月13日～15日

目的：中食（量販惣菜）業界の企業様に向けた試食・提案営業

来場者：88,412名



業務用
早摘みのグリーンオリーブを使ったフレッシュでフルーティな香りのエキストラバージンオリーブオイルに、フライドガーリックとオニオン、松風の香るブラックペッパーをブレンド、本格的な味わいと美味しさを追求した、業務用「オイルソース」の誕生です。

※本品に使用している食用植物性油脂はCOSEDA工業株式会社から購入した2%使用しております。

バックヤード向け・味付け用オイル調味料

ガーリックペッパー オイルソース

Garlic Pepper Oil sauce



業務用
早摘みのグリーンオリーブを使ったフレッシュでフルーティな香りのエキストラバージンオリーブオイルに、バジルやローズマリー、セージ、オレガノなど数種類のハーブをブレンド、本格的な味わいと美味しさを追求した、業務用「オイルソース」の誕生です。

※本品に使用している食用植物性油脂はCOSEDA工業株式会社から購入した1%使用しております。

バックヤード向け・味付け用オイル調味料

バジルオイルソース

Basil Oil sauce



2019年2月13日より3日間、日清オイリオグループとの共同ブースでデリカテッセントレードショーに出展致しました。

3日間の会場来場者数は88,412名で、日清オイリオグループとのコラボ製品である「ガーリックペッパーオイルソース」「バジルオイルソース」を使ったポークステーキを主に提供致しました。

試食カウンターのまわりは常に行列ができており、顧客獲得につながるイベントとすることができました。

IRメールを配信し、投資家の皆様とのコミュニケーションを推進

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録の皆様にニュースメールを配信しご案内しております。メール配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録（無料）いただけますので、是非ご利用ください。



<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=2813>

IR配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しております。

本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。

本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。

本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的リスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。

また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ



IR担当：藁谷

TEL : 0 1 3 4 - 6 2 - 0 5 0 5

E-mail : IR@wakoushokuhin.co.jp